

「道徳的諸価値についての理解」

を重点とした道徳科の授業づくり

第3学年 道徳科学習指導案

1 **主題名**「生命の尊さ」(内容項目：D-19 生命の尊さ)

2 **教材名**「命の選択」(出典「中学道徳3」光村図書)

3 **主題設定の理由**

中学校の段階では、「生命の尊さ」について、自分が今ここにいることの不思議(偶然性)、社会的関係や自然界における他の生命の関係性などの側面からより多面的・多角的に捉え、考えさせることで、生命の尊さを理解できるようになる。「命がなぜ大切なのか」、「生きているとは何なのか」について改めて深く考え、自らの生命の大切さを深く自覚させるとともに、他の生命を尊重する態度を身に付けさせることが大切である。

これまでの同じ内容項目の学習においては、命の大切さについて理解しているものの、生命の尊さやかけがえのない生命を尊重することを深く考える点に課題が見られた。

本教材は「他者の生死に関わる選択をする」という、今までにない側面から命について考える内容であることから、対話を通して、生命の尊さについて多面的・多角的に捉えることにより、自らの生命の大切さを自覚させるとともに、生命を尊重する道徳的心情を養いたい。

4 **本時のねらい**

祖父の意思に反して延命措置を施すことについて葛藤する家族の姿を描いた文章と、尊厳死に対する複数の立場からの新聞投稿の内容から、命について多面的・多角的に考えさせ、生命を尊ぶ道徳的心情を育てる。

5 **本授業のポイント**

- ① 導入時、教材を読む前に「なぜ命は大切なのか」を生徒に問いかけ、生命について考えを深める時間を設定する。
- ② 自分の考えを振り返るとともに、対話を通して自他の命を大切にすることについて、多面的・多角的に考えを深める時間を設定する。

6 **本時の展開**

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	○留意点 ■評価の観点 等
導入	<p>1 大切なものについて話し合う</p> <p>○この世で一番大切なものは何だろう ・命 ・お金 ・家族 ・友達</p> <p>○なぜ命は大切なのだろう ・命がなくなったら終わりだから ・他の大切なものは、命がないと意味がないから</p> <p>○命さえあればよいのだろうか、生きているってどういうことだろう</p>	<p>○生徒から出てきた多様な考えから、命について考えることを焦点化する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・寝たきりなどは嫌だ ・分からない 	
展 開	<p>2 「命の選択」の教材を読む</p> <p>○父母はどうして祖父の意思を尊重できなかったのだろう？【価値理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きていてほしかったから ・回復するかもしれないという希望をもっていたから <p>3 新聞の投稿を読んで考える</p> <p>○「父さんたちはどうすればよかったんだろう」のつぶやきに対し、僕は何と答えるだろうか。</p> <p>【人間理解】【他者理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きていてほしいから、間違っていない ・祖父の意思を尊重すべきだったのではないか ・わからない 	<p>○教師が範読する。</p> <p>○ICTに自分の意見を記入させ、他者の考えを参照できるようにする。</p> <p>○答えは問わない。</p> <p>■対話を通して、生命の尊さについて多面的・多角的に考えている。(発言・ワークシート)</p>
終 末	<p>4 命について考えたことを振り返る</p> <p>○参考資料としてホスピス医療について紹介する。</p> <p>○命についてどんなことを考えましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・命がかけがえのないものであることが分かった ・命はいつか終わりがくるから、今を精一杯生きようと思った 	<p>■尊厳死について考えることで、自分が生命を大切にすることについて考えをもとうとしている(発言・ワークシート)</p>